参加費無料

FUSE × 光産業創成大学院大学

起業・新規事業創成を目指している人へ
それを支えようとする人へ

FUSEアカデミア
×
光産業創成大学院大学

第7回
VCが投資したいと思うスタートアップとは？
～医療機器スタートアップが成功するために～

2024.11.27 Wed
18:30 - 20:00

参加方法
①対面 FUSEイベントスペース / 50名
②オンライン Zoom / 50名

第7回講師
MedVenture Partners株式会社
代表取締役社長 大下 創（おおした はじめ）

講演内容

講師の大下先生には、下記の要旨を頂きました。今回のフォーラムの講師紹介文は、大下先生に頂いた要旨をそのまま掲載させて頂くことにしました。

“弊社が国内で医療機器スタートアップへの投資を始めて10年になるが、国内の起業家や研究者等の多くは、VCが何を求めているかを十分に理解できていないと感じている。VCから投資を受けるためにまず理解すべきことを中心に、スタートアップが成功するために何を必要とされるのか、米国での成功事例等を交えて、ニーズの重要性とインパクト、エコシステム構築のために必要なものまで網羅的に解説したい。”

要旨に手を加えなかったのはフォーラムの企画者として、先生のVCのポートフォリオ、先生に頂いたタイトル、サブタイトル、要旨の一言一句をかみしめて読ませていただいた結果です。

本学は、浜松、あるいはこの静岡県からスタートアップに果敢に挑戦する起業家を多く輩出させることを目標に起業家人材の発掘・育成活動を行っています。この地で起業してよかった、あるいは私（私達）の起業は、この地からと思って頂けるようにとの活動だと思っています。しかし、本学もモノづくりの街を自負する浜松で「この地ならではのスタートアップ育成を行っていますから大丈夫です」と大下先生のような経験豊富なVCに胸を張って伝え、浜松に出かけてきて、この地発のスタートアップに目利きの力を生かして下さいと言えるのは、少し先のことかなと思っているのが現状での本音です。

本学はスタートアップ成長のステークホルダーではありますが、本学が行えるのはその“きっかけ”づくりを含めた一部にすぎません。とはいっても要旨にあるように、VCに“何を求めているかを十分に理解できていない”起業家が多いと感じさせてしまう原因にもなっているかもしれないことに気づかされて耳(目)が痛い思いをしています。それは、成功例も少ない立場だから、卑屈になっているわけではありません。私たちの役割は、“起業家の発掘・育成”と上から目線で書いてしまいましたが、裏を返せば、私たちは選ばれる立場にあることに今更ながら気づいてしまったからです。この地には、有効に機能しているエコシステムがあって、その一部として本学も十分な活動を行っているかを示さなければ、少しでも成功確率を高めたい起業家には選ばれるはずもありません。

創業前後、売り上げも資金もないスタートアップが成長し、EXIT（ひょっとしたら大手企業に買収される）を果たすまでの間に様々なステークホルダーが存在します。起業家自身もそうですし、私たちのような大学ばかりでなく、エンジェルやVC、あるいは、大企業もその一部に違いありません。羨ましい限りの豊富な成功例が大都市にあることは分かっています。大都市なりのリソースを生かしたエコシステムが構築できているんでしょうね。そもそも、支援目的が違っているかもしれません。

今回の“Fuseアカデミア×GPI”フォーラムは、大下先生の提言が、大都市の単なる模倣ではなく浜松、あるいは静岡らしいスタートアップ支援軍団、つまり起業家に選ばれるエコシステムがどのようなものであるべきかを再考する機会になればと思っています。結果として、スタートアップにとっても、支援する側にとっても多くの宿題を残すことになってしまうと思います。しかし、今年度のシリーズの企画の集大成としてふさわしい内容になることを期待しています。是非、ご聴講の上活発なご議論をお願い致します。

講師略歴

97年から27年の医療機器業界（事業会社・VC）での経験を有する。当初は日本から米国医療機器ベンチャーへの投資を担当するも、米国投資先の成功をきっかけに、05年、シリコンバレーのVCで現地採用され、約5年間米国医療機器ベンチャーへの投資を担当。当時の投資先の大半(7件中6件)がEXITに成功し、複数の投資先が時価総額1000億円超を達成した。投資先の開発した製品は、世界中で多くの患者を救っており、代表的な製品に、治療法のない巨大脳動脈瘤の治療を可能にしたPipeline Stent等がある。

帰国後の2013年、国内唯一の医療機器専門VCであるMedVenture Partners株式会社を創業。1号ファンド（60億円）に続き、20年に2号ファンド（99億円）、23年に同規模の3号ファンドを設立。多くの投資先で取締役を務め、国内でもBiomedical Solutions社、A-Traction社等複数の成功事例を生みだしている。

アクセス
Co-startup Space & Community FUSE
静岡県浜松市中央区鍛冶町100-1
ザザシティ浜松中央館 B1F

問合わせ
Mail : info@fuse-hamamatsu.jp
担当 : FUSE /神村

申し込み
詳細・お申込みは
コチラから →